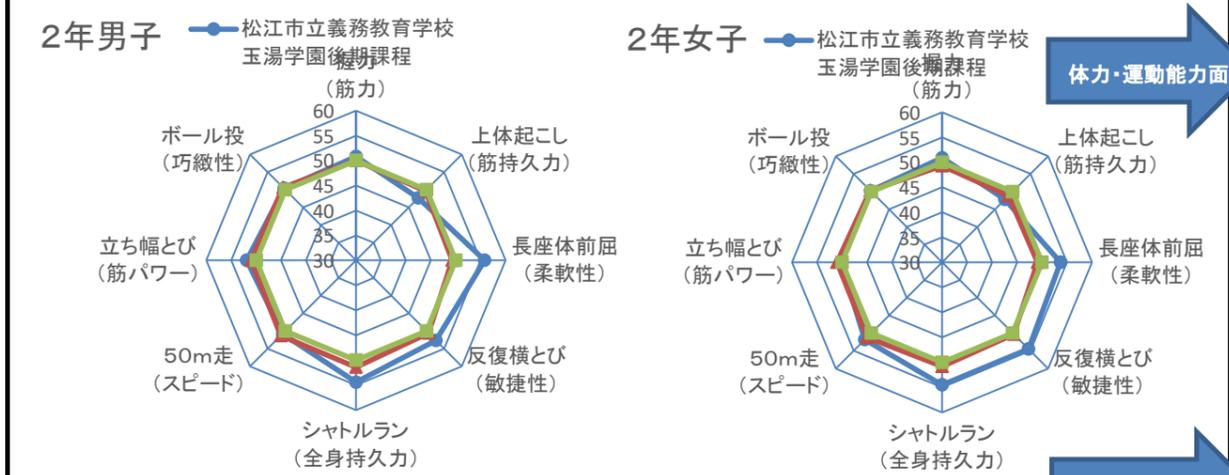
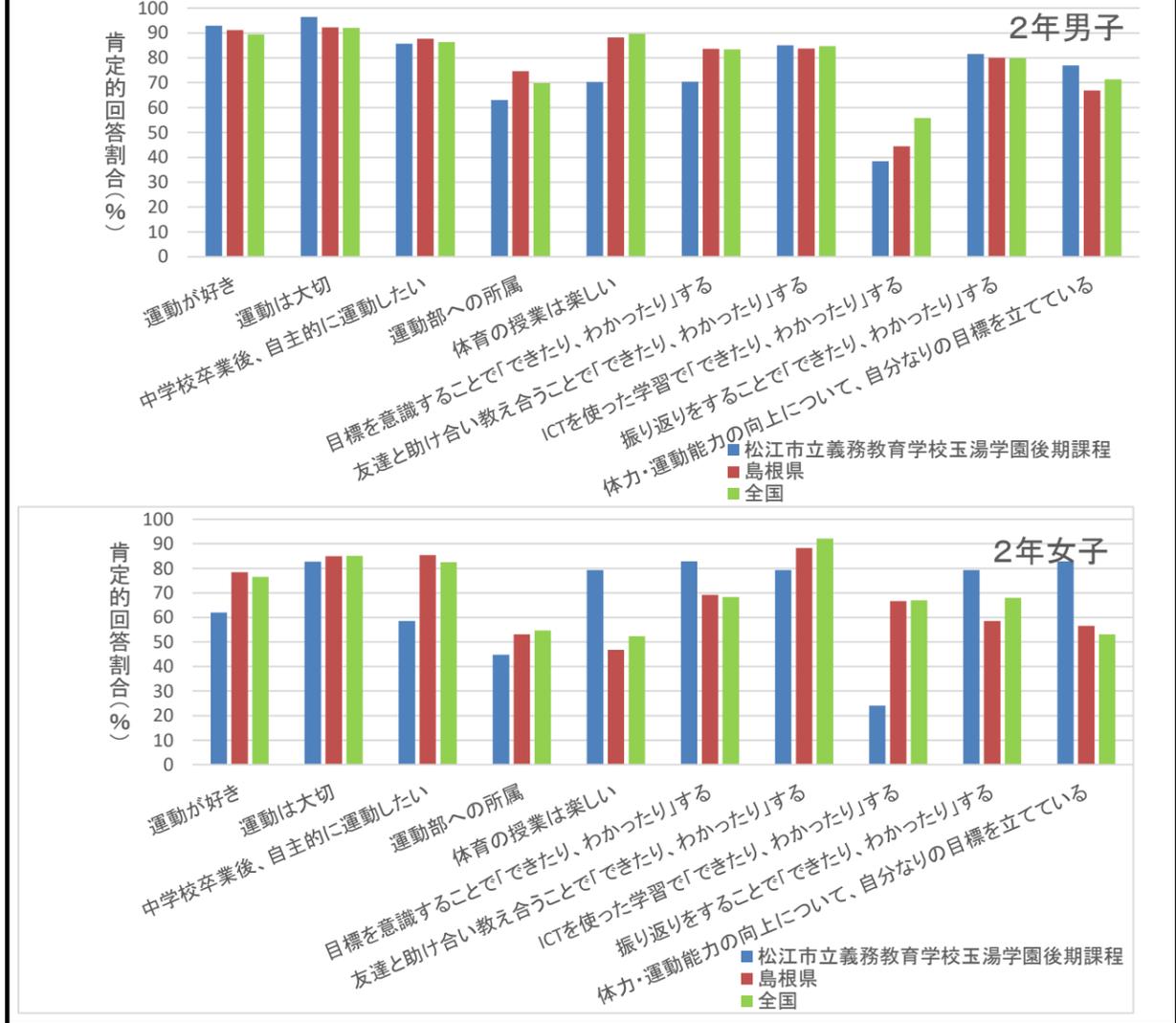


松江市立義務教育学校玉湯学園後期課程

(1) 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査<意識調査>の結果 (体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力 (筋力)	上体起こし (筋持久力)	長座体前屈 (柔軟性)	反復横とび (敏捷性)	シャトルラン (全身持久力)	50m走 (スピード)	立ち幅とび (筋パワー)	ボール投 (巧緻性)
男子	0.8	-2.3	5.8	2.7	4.4	0.8	1.9	0.4
女子	0.9	-2.2	3.7	4.5	4.5	1.8	0.2	0.2

[-5p以上] [-5~-2p] [-2~0p] [0~2p] [2~5p] [5p以上]

弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校卒業後、自主的に運動したい	運動部への所属	体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する
男子	3.5	4.4	-0.7	-6.8	-19.4	-13.0	0.4	-17.4
女子	-14.5	-2.4	-23.9	-9.9	27.0	14.5	-12.9	-42.9
男子	1.6	5.5						
女子	11.3	29.7						

振り返りをすることで「できたり、わかったり」する

体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている

[-7%以上] [-7~-3%] [-3~0%] [0~3%] [3~7%] [7%以上]

弱み ← → 強み

(3) 令和6年度の方針【学校全体での取組】

○体力テストにおいては、前年度の自分の記録を確認し、それを上回るよう練習を行ってから計測を行った。その結果ほとんどの生徒が体力の向上を実感できた。6年度も「昨年の自分に勝とう」を合言葉に取り組みさせたい。

○体力テストにおいて、上体起こしの値が低かった。授業での補強運動などの行い方を工夫し、値を上げていきたい。

○タブレットの表計算ソフトを利用して、長距離走の授業において、ラップタイムの計算を行った。しかし、生徒によっては使いにくい面もあるようなので、使い方と表の組み方を工夫していきたい。

○器械運動では、見本動画の視聴や、自分の運動を録画し、それをもとに動きを修正していくことにタブレットを利用した。このように、ICTの効果的活用の場面を設定していきたい。

○ワークシートの記入については、自分の走ったペースの算出や、それにより導き出される目標タイムの設定によって、ペース配分への思考が深まった。また、動画によって自分の姿を客観的に観察することにより、技術のポイントの確認や、コツをおさえるための試行錯誤が行われ、出来ばえをより良くするために追求する姿が見られた。さらに効果的なICTの利用を工夫していきたい。

○ワークシートにおいては、記入の時間を授業の中で十分に設定することで、書かれる言葉が増えてきた。その反面、寒い時期の授業における、ICTの活用とワークシートの記入についての時間配分を考え、運動量の少ない「寒かった」授業になってしまわないように留意していきたい。

○生徒がワークシートへの記入に慣れ、言葉が多くなってきたが、評価につながる言葉や文章が見えにくくなってしまっていることがある。ワークシートの工夫、書かせ方の工夫をしていきたい。

○ペアに1台タブレットを携帯させ、それで動画を見ることはあったが、全体に1つの動画を見せたいときは、体育館に電子黒板がないため、プロジェクターを利用して、動画を投影した。しかし、毎時間準備するのは大変であるので、もう少し良い方法がないか検討していきたい。